

## 全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成26年4月に小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果については全国・神奈川県と比べたデータです。今後の本校としての取り組みについてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面になります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解し、今後の学習の参考にしていただけるようお願いいたします。

### 国語A 主として知識に関する調査（全15問）

15問のうち、12問の平均正答率が全国・県より高くなりました。漢字の読みや書き、物語の一部に入る適切な文章を書く設問では自分で書いて解答しますが、それ以外の設問では、選択肢から適切なものを選んで解答します。

前学年までに学習する漢字を読んだり書いたりする設問において、平均正答率が全国・県と比べて低いものがありました。それ以外の設問においては、0.5%から16%高い結果となりました。

- 前学年までに学習する漢字を書くことは、正答率が100%のものがある一方で、平均正答率が10%低いものがある。正解と不正解の正答率が半々のものもある。
- 故事成語の適切な使い方を選択する正答率が高い。
- 物語の一部に適切な人物名を書くでは、全国平均より6.5%高い。

### 国語B 主として活用に関する調査（全10問）

10問のうち、8問の平均正答率が全国・県より高くなりました。意見文や説明文、詩などを読み、選択肢から解答を選んだり、自分で書いたりして解答します。国語Aとは異なり、ほとんどが書いて答える設問です。平均正答率は高いものが多いですが、「書く能力」については課題があります。

- 詩の表現の特徴として適切なものを選択するでは、正答率が5%高い。
- △発言内容をまとめて書くことは、設問条件を満たしていない回答率が全国平均より高い。
- △複数の内容を関係付けた上で自分の考えを書くことでは、無記入や必要な内容に触れていないものが多い。

#### 《国語・今後の取り組み》

書く活動において、以下の学習を意図的、計画的に行う必要があります。

- 文章を理解しながら読み、主な内容や主題を考えること。
- 設問の条件に合った内容を文章から読み取って考え、書くこと。
- 文章の内容をまとめて書くこと。
- 学習した言葉や漢字の意味を理解して、自分で文章を書く際に適切に使うこと。

### 算数A 主として知識に関する調査(全10問)

17問のうち、15問の平均正答率が全国・県より高くなりました。もとの大きさから体積を求めたり、もとの大きさのいくつ分を考えて計算を行ったりする問題に対しては課題が残りました。

- 直方体の面の形について正しく認識する問題は全国平均より13%高い。
- 人口密度を求めるための式を正しくたてる問題は全国平均より12.1%高い。
- △整数-少数を正しく計算する問題は全国平均より2.6%低い。
- △1立方センチメートルの立方体をもとに、示された直方体の体積を求める問題では全国平均より2.3%低い。

## **算数 B** 主として活用に関する調査（全 13 問）

13 問のうち、11 問の平均正答率が全国・県より高くなりました。示された図から、ものを分配する様子を読みとる問題に対して課題が残りました。

- 2 けた×2 けたの計算を工夫して解く問題は全国平均より 11%高い。
- グラフの特徴を考え、適当なグラフを選ぶ問題は全国平均より 7.9%高い。
- △ 4 0 人分のご飯を分けるとき、1 0 人分の目安を正しく表している図を選ぶ問題では全国平均より 4.9%低い。
- △ 示された分け方でスープを分けたとき、残りの人に分けることができるかを考え、そのわけを書く問題では 1.6%低い。

### 《算数・今後の取り組み》

以下の学習を意図的、計画的に行う必要があります。

- もとの大きさを考えて計算練習を行うこと。
- もとの大きさを考えて、長さや体積を求めていくこと。
- 資料正確に読み取り、式を立てていくこと。

## **質問紙** 生活・学習に関する実態や意識に関する調査

- 全国や県の平均割合より高いもの
  - ・ 毎日朝食を食べている・毎日同じ位の時刻に寝起きしている
  - ・ ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある・難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する
  - ・ 自分にはよいところがあると思う・将来の夢を持っている・学校に行くのは楽しい
  - ・ 学級みんなで何かをやり遂げたのは楽しい・地域の行事に参加している

△ 全国や県の平均割合より低いもの

- ・ 学校の授業時間以外や、学校が休みの日の 1 日当たりの勉強時間
- ・ 読書（教科書や漫画を除く）や図書館を利用している・家で学校の授業の予習をしている
- ・ 家で学校の授業の復習をしている・きまりを守って生活している

\* 月～金曜日の 1 日当たりの携帯電話やスマートフォンの使用、テレビ視聴について

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている割合は、全国平均より高い。（携帯電話やスマートフォンを使ってのゲームを除く）
- ・ テレビ、ビデオ、DVD 視聴率（テレビゲームは除く）は、1 時間以上 2 時間未満が最も多い
- ・ ゲーム時間（コンピューター、携帯型、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）は、1 時間以上している割合が全国や県の平均より高い。

### 《今後の取り組み》

以下の支援を意図的、計画的に行う必要があります。

- 生活習慣のよさ、地域の教育力の高さを生かしながら、それを学習意欲の向上へとつなげる。
- 一人ひとりのよさを認め、称賛していく。
- 社会生活につながる規範意識を児童の実態に合わせて支援する。
- 携帯電話やスマートフォンの利用の仕方について、保護者の理解も得ながら支援する。

**全国・学習状況調査の結果をふまえ、6 学年及び他学年の学習指導において改善できるよう取り組みます。また、横浜市独自で実施している市学習状況調査の結果をもとに、各学年ごとのきめ細かい授業を実施していきたいと考えます。**